

## 序文

本報告書は、広島大学長・学長裁量経費の研究補助を受けて、平和科学研究センターが国連訓練調査研究所アジア太平洋広島事務所（UNITAR HOAP）と共同で行った平和構築の観点から見た広島の復興史に関する研究「広島の復興史の現代紛争後国対象研修事業における活用に関する UNITAR との共同研究」の成果である。研究は、篠田英朗・平和科学研究センター准教授を研究代表者として行われた。UNITAR HOAP とは、緊密な連携協議を数度にわたって繰り返し、その問題関心を反映した研究成果をまとめることができた。また、実際の調査の過程では、NPO 法人ピースビルダーズ研究員の大々的な協力を得て、大川富美・同法人研究員執筆の論文の寄稿を得ることもできた。さらに、淵ノ上英樹・大学院国際協力研究科研究員の協力も得て、同研究員執筆の論文の寄稿も得た。本研究シリーズは、こうした各方面の専門家の協力を得て、編集されたものである。